

The Everlasting

1. My Ramblin' Boy (4'29")
2. 心の旅 (3'56")
3. O'Carolan's Rambles To Cashel (3'08")
4. 天国のバラ (3'26")
5. ユリカモメの飛ぶ街 (5'07")
6. 花嫁 (2'53")
7. この想い (4'58")
8. Hard Times Come Again No More (4'39")
9. O'Carolan's Farewell To Music (3'31")
10. 別れのうた ~ Chaplin In New Shoes (7'38")
11. さよなら青春 (2'40")
12. Left Alone (4'18")

正直言ってこんなCDをつくるなんて…。しかもこんなに早くに…。今だに信じられないけど、これもひとつの僕自身の区切りになるのだろうか。

彼の唄ってきたいくつもの歌、そのうちの何曲かを僕なりに唄ってみました。もうこれから先、彼がそれらを唄うことはないんだと…。つくづくいい唄い手だったと実感しています。僕のつたない唄で彼のことを思い出してもらえたらと思います。また、いくつかの楽器演奏はすべて彼に捧げるものだし、それも彼を思い出すきっかけになってくれれば嬉しいと思います。

今は亡き友、坂庭省悟に捧ぐ。

Everlasting Junji Shirota



1. My Ramblin' Boy

訳詞 中山 容/作曲 Tom Paxton

トム・パクストン作のこの唄はいろんな人が唄っているけれど、この中山容さんのすばらしい訳詞が光っていると思う。あの世でまた逢えたら一緒に演奏旅行に出たい。おもしろいことがいっぱいあったし、まだまだそれが続くんだっいたらいくらでもつき合いたいもんだ。本当に心からそう思う。



2. 心の旅 (I can't help but wonder where I'm bound)

詞 坂庭省悟/作曲 Tom Paxton

同じくトム・パクストン作。放浪の旅の唄で60年代これを聞いた時なんとすばらしいメロディーだろうと思ったもんです。旅に出ることをやめられない男の切なさに、省悟がすばらしい詞をつけている。本当に旅ばかりだったよなあ。



3. O' Carolan's Rambles To Cashel

作曲 Turlough O'Carolan

旅の楽屋などでこんな曲を弾いてあげると「ええなあ〜。ずっとこんなん聴いてゆっくりしたいなあ〜」って言ってくれてたっけ…。そのうち高いびきで眠ったりしたこともあった。それでカゼひいたりして…。でもよくリクエストされた「じゅんじ、アレ弾いてくれ、コレ弾いてくれって…」30年も前にO' Carolanによってかかれたハーブの曲。僕自身のギターアレンジです。これを聴いてそっちでもゆっくりしてくれ 省ちゃん。